



令和3年度 飯塚市立飯塚小学校通信

友愛 (ゆうあい)

〈学校目標〉 幸福な人生を切り拓き、未来を創造する「やさしさ」と「かしこさ」と「たくましさ」を身につけた飯っ子の育成

児童数 282 名

第7号

令和3年8月23日

校長 津野 真須美

今日は久しぶりの登校日で、子どもたちの元気な姿を見ることができました。子どもたちが登校すると学校は活気に満ち、教室では子どもたちの笑顔が溢れていました。改めて、子どもたちの元気な笑顔は学校の宝だと感じた一日でした。

さて、夏休みも残り9日間となりました。今日から26日までの出校日は、2学期からの学校生活のリズムを取り戻す準備期間です。午前中で下校となりますが、この4日間で子どもたちが少しずつ学校生活に慣れ、心身ともに元気な状態で2学期のスタートを迎えられるようにしたいと思います。

8/6 平和学習をおこないました ～一人一人が平和について考える～

8月6日の出校日は平和学習をおこないました。戦後76年が経ち、戦争について継承することが難しくなっていますが、この日の学習をきっかけに、子どもたちが平和について自分のこととして考える機会になればと思います。各学級では、学年に応じた教材で平和学習を行い、一人一人が平和の願いを込めて折り紙で鶴を折りました。また、学級での平和学習に先立って、私からは全校放送でスライドを見せながら、子どもたちに下記の内容の話をしました。

今日、8月6日、そして8月9日は、私たちが絶対に忘れてはいけない日です。今日の日を忘れないために、今から1年生から6年生まで大切な学習をします。一人一人が「平和について考える」学習です。

76年前の1945年8月6日、広島に1発の原子爆弾が落とされ14万人の命が失われました。その3日後の8月9日には、原子爆弾が長崎に落とされ7万4千人を超す人たちの命が失われました。1発の原子爆弾によって、広島と長崎の町は一面火の海になり、人々の「当たり前」の生活「かけがえのない大切な命」が奪われました。

原子爆弾によって熱線を浴びて命を失った人、倒れた建物の下敷きになって亡くなった人、家が燃え、逃げ出すことができずに亡くなった人、割れたガラスが体中に突き刺さって亡くなった人…多くの命が奪われました。皆さんと同じくらいの年で、お父さん、お母さん、兄弟を失い、独りぼっちになった子どもたちも大勢いました。

今は令和3年、皆さんは「令和」の時代を生きています。皆さんが生まれた「平成」の時代から今まで日本は戦争をしていません。でも、「昭和」の時代の初め、日本は戦争をしていました。その戦争で使われたのが原子爆弾です。

戦争の時代には、食べ物がなく、皆おなかをすかせて、少しの食べ物を家族で分け合っていました。男の人が戦争に行くため、子どもたちはお母さんを助け、家の手伝いをし、家族が食べる野菜を作ったり工場に働きに行ったりすることもありました。勉強したくてもノートや鉛筆が十分になく、地面に字を書いて字を覚えたそうです。

今、皆さんが当たり前と思っている生活は、76年前の日本、戦争の時代では当たり前ではなかったのです。戦争は、お互いを傷つけ合い、平和な生活と命を奪ってしまうものです。

皆さんは、折り紙で鶴を折ったことがありますか？「折り鶴」は「平和のシンボル」と言われています。

なぜ「折り鶴」は「平和のシンボル」になったのでしょうか。

それは、広島に落とされた原子爆弾のために12歳で亡くなった佐々木貞子さんの話がきっかけとなっています。

広島に原爆が落とされたとき、佐々木貞子さんは2歳でした。原爆でたくさんの命が奪われましたが、貞子さんは奇跡的に助かりました。貞子さんは小学校に入学し、元気いっぱい学校生活を送っていました。ところが10歳になったとき、原爆の放射能が原因で白血病という病気になり入院することになりました。ある日、貞子さんは、「折り鶴を千羽折ると、願いが叶うよ」という話を聞きました。「早く元気になって学校に行きたい」と、貞子さんは、飲んだ薬の包み紙で一羽一羽鶴を折り続けました。でも貞子さんの病気はよくなり、とうとう12歳でこの世を去りました。「貞子さんのように原爆で苦しむ人、悲しむ人が世界中からいなくなりますように。戦争のない平和な世の中になりますように」という願いから、折り鶴は「平和のシンボル」となりました。そして、折り鶴に託す平和の願いは今も受け継がれ、全世界に広がっています。

この後、皆さんは学級で平和についての学習をし、折り鶴を折ります。この折り鶴は、6年生が修学旅行で長崎を訪れたときに長崎の平和公園に捧げます。皆さんの平和の願いを鶴に込め、6年生が代表でみんなの思いを伝えます。

皆さんがこれから生きていく世の中は、人が争って命を失ったり傷つけあったりするような時代になってほしくありません。安心して、幸せに暮らせる世の中がずっと続いてほしいと願っています。そのためにも、今日は戦争のことを知り、みなさん一人一人が、世の中の平和、家族の平和、学級の平和など、「平和」について考えましょう。

1年生は6年生に、2年生は5年生に、鶴の折り方を教えてもらって上手に鶴が完成しました。



「マイ・タイムラインで命を守ろう」親子講習会

夏休み中盤から低気圧の影響で飯塚市でも大雨が続きましたが、皆様のご家庭では被害はなかったでしょうか。本校も8月14日から15日かけて、避難所として学校を開放しました。地域の皆様には避難所の開設に際し、避難所に必要な物品の搬入・避難所の準備・後片付けなどでご尽力いただき、ありがとうございました。

8月4日、国土交通省遠賀川河川事務所の主催による「マイ・タイムライン」親子講習会が本校で開催されました。「マイ・タイムライン」とは、大雨により河川の水位が上昇し氾濫が起きそうな時、余裕をもって逃げるために事前に考えておく「一人一人の生活に合ったオリジナルの避難行動計画」です。講習会には4家族11名が参加され、近年の災害や遠賀川の洪水についての基礎知識を学びそれぞれのマイ・タイムラインを作成しました。また、タブレットを使ってハザードマップを確認したり防災情報の見方を学んだり、まさに今回の大雨の際に早速活用できる内容の講習会でした。



新学期の感染症対策について

8月20日（金）から9月12日（日）まで緊急事態措置が実施されることになりました。今回の緊急事態はデルタ異株への置き換わりが進み、若い年代層も含めた感染者が急増していると言われています。

本日から4日間の出校日、そして2学期を迎えるにあたり、学校ではこれまでの感染対策を徹底するとともに、感染リスクの高い教育活動は緊急事態措置の期間中は制限します。

＜基本的な感染症対策の徹底＞

- マスク着用（体育の授業ではマスクは外します。）
- 教室等の喚起
- 手洗いの励行（特に教室を移動した際や共有物を使用した際の手洗いの徹底）
- 朝、教室に入る前の検温表のチェック
- 人との距離の確保
- 給食時等マスクをはずす際の会話の禁止

＜教育活動の制限＞（緊急事態措置期間中に中止・延期する活動）

- 外部講師や学習ボランティアによる学習
- 公共施設等の見学
- 合唱やリコーダーの演奏など飛沫が飛び活動
- 調理実習や理科の実験等、子どもたちどうしの距離の確保できない活動
- 対面によるグループの話合い活動
- 密になるボール運動や集団活動

ご家庭へのお願い

- 毎朝の検温及び検温表への体調のご記入を2学期もよろしくお願いいたします。
- お子様に発熱や風邪症状がある場合は、無理をせず自宅待機をお願いします。同居のご家族に発熱や風邪症状がある場合も同様です。
- 同居のご家族がPCR等検査の対象や濃厚接触者になった場合は、検査結果がわかるまで自宅待機をお願いします。
- 児童やご家族がPCR等検査や濃厚接触者になった場合は、検査前に速やかに学校にご連絡をお願いします。